

芸振

も く じ

教育長就任にあたって	1
開幕行事のねらい	2
中幕行事について	3
閉幕行事について	4
芸振新役員(理事)紹介	5
平成7年度基金事業一覧表	6
平成7年度日本芸術文化基金 助成金内定	7
芸振補助事業で開催される行事	7
新会員紹介	7
事務局だより	8



大分県芸術文化振興会議

No. 95

平成7.9

■発行人：仲町謙吉 ■編集人：末廣利人

(題字 堤崑山)



教育長就任にあたって

大分県教育委員会教育長 田 中 恒 治

近年の著しい技術革新は、物質文明の目覚ましい発展をもたらしましたが、人々は物質的豊かさよりも「心のゆとり、豊かさ」を求める文化への関心を強めています。特に高齢化が進み、生涯学習の重要性が認識される中で、文化活動による生きがいの発見等が時代の大きな要請となっています。

こうした状況のもと、昭和40年から始まりました大分県芸術祭が昨年30周年を迎え、第30回記念大分県美術展や舞台美術家の朝倉摂先生による記念文化講演会を開くとともに、開幕行事の「『秋三題』と『清経』」では、能楽・箏曲・日舞を一つの舞台に融合させるという斬新な試みがなされ、多くの観客を魅了しました。

また、平成10年に開催が内定しております第13回国民文化祭については、本年5月に文化振興課内に国民文化祭準備班が設置され、7月には大分県実行委員会が組織されるなど、開催に向け活動を開始しております。

本県教育委員会におきましては、今後とも「地域に生きる人材の育成と個性ある地域文化の創造」を基本テーマに、「個性豊かな地域文化の継承と創造」を目指して芸術文化の振興に取り組んで参りたいと考えております。

県芸術文化振興会議会員の皆様には、大分県芸術祭をはじめ、国民文化祭の開催等大分県の芸術文化活動の推進に引き続き積極的な御協力をいただきますようお願い致しますとともに、皆様の益々の御活躍、御発展を心から祈念申し上げ、私の御挨拶と致します。



利光 敏郎(県美術協会会員)

第31回大分県芸術祭

開幕行事のねらい

日本の韻べ 糸竹に寄せて

大分県三曲協会

会長 後藤 碩山

このたび、大分県三曲協会第35回定期演奏会を記念する公演が、第31回大分県芸術祭の開幕行事に指命され、身の縮まる思いである。昨年の第30回芸術祭の開幕行事は、大分市で大々的に開催されたが、本年の会場は地方に移るので、我々は、地元大分市で開催できる閉幕行事を希望していたところ、図らずも開幕行事を担当するよう指命されたのである。会場は、新設された別府市のビーコンプラザとのこと。別府は地元同様で異存はなかったが、会場のフィルハーモニアホールは邦楽には異質のもので、果して望むような演奏ができるか、これが心配の種となった。何回も会場を視察し、与えられた条件の中で最善の努力を尽くすしかない、との結論に至ったのである。

なお、この際当協会の歴史を略述させて頂くと、大分県三曲協会は、戦後の混乱した世情が漸く落ち着きを取り戻した昭和27年頃、箏曲・尺八の各師匠が相集い、流派を越えて相互の親睦を図るとともに、合奏技術の向上に努め、よって本県邦楽の振興を図ることを目的として昭和28年1月15日、正式発足した。そのうち、「毎年定期演奏会を開いては…」という声が強まり、昭和34年11月に第1回定期演奏会が開かれ、爾来今日に至っている。

この間、昭和50年には、第11回県芸術祭の開幕行事を担当し、さらに平成2年には第30回定期演奏会を記念して第26回県芸術祭の閉幕行事を担当させて頂き、中央より著名な琴古流尺八演奏家「山口五郎先生及び地唄三絃演奏家の藤井久仁江先生」を招いて盛大にその年の芸術祭を締めくくった。

戦後50年、世界第2の経済大国となった現在、日本古来の伝統音楽である邦楽を見直し発展させようとする動きは益々強まっている。これを受けて、今回の演奏会では、東京より地唄箏曲演奏家として活躍中の富田清邦先生、戦後早くから作曲家・演奏家として活躍し、今なお高齢にもかかわらずかく矍鑠として演奏活動を続けている佐藤親貴先生及び御両師とタイアップして活躍している琴古流尺八家の藤井治童師をお迎えして、その至芸を披露させて頂くとともに、地元の我々一同もその一翼を担って精一杯演奏披露すべく、記録的な猛暑の中、営々として合奏練習を重ねているところである。

なにとぞ、地元別府市はじめ芸術加盟各団体の大いなる御支援をお願いしながら、開幕行事の成功を祈念している。



中 幕 行 事 に つ い て

オペラへの誘い

花の会 アンサンブル ラ・メール

主 宰 三 浦 美 穂

この秋、大分県芸術祭中幕の公演に「花の会」の演奏会をさせていただけることになり大変光栄に思っております。

音楽を愛し、歌を愛し、謙虚に、そして大胆に花を咲かせたい、と願って発足しました「花の会」も10周年を迎えることになりました。

合唱活動、ソロ活動と夢中で頑張ってまいりました。この間、早いようでもあり、やっとなのようでもあり、感慨深いおももちです。多くの方々との出会いがあり、温かいご協力とご理解を得て、ここまで演奏活動を続けることができました。また、演奏会を終えるごとに、聴いて下さった方々の拍手、励ましの言葉が、勇気を与えてくれました。この励ましを糧に、15周年、20周年と歌い続けたいと思っております。

今秋の演奏会は、「オペラへの^{いざな}誘い」と題しまして、有名なオペラの中の合唱曲とアリアで構成しました。オペラの中で合唱曲を歌う機会は少なく、アンサンブル ラ・メールとしても初めての試みです。

昨年、芸術文化振興会議より、海外派遣にてイタリアで勉強する機会をいただきました。イタリアでの勉強は歌曲ではなく、オペラでした。イタリアで歌った曲も何曲か入れ、プログラムを考えてみました。イタリアの音楽のすばらしさを、少しでも表現できたらと思っています。

この10周年の舞台を、合唱団と共にできますことは、二重の喜びです。

東京からは、テノールの加茂下稔、ピアノ・呉恵珠、沖縄よりシンセサイザーの喜屋武かなえ氏等が、舞台を盛り上げてくれることになっております。11月10日を「花の会」全員が楽しみにしております。



閉 幕 行 事 に つ い て

大友宗麟を支えた男・戸次道雪

大分県民演劇制作協議会

代 表 中 沢 と お る

「豊後大友物語」を書いた原作者の狭間久氏と打ち合わせた。大友宗麟の正室が宗麟より年上であったことが話題になった。23年前、高い評価をえた「大友宗麟」を書いたとき、うかつにも年下の設定であった。「宗麟が求めた女はみんな年上で…」、久さんはそう言って笑った。極めて大切なことで、最終原稿でかなりの訂正をした。

大友宗麟は、世上、噂されているような名君ではない。戦場で陣頭に立ったことはない。九州探題になったのは、没落寸前の室町幕府足利将軍に莫大な金品を贈ったから、キリシタン大名になることで豊後大友は内部の結束が乱れ島津との戦いで大敗し、戸次道雪死後、島津は豊後に侵入、府内や臼杵の町は焼かれた。正室の名は残っていないが、家臣がイザベル（怒れる牝獅子）と仇名し恐れた女で、宗麟との夫婦喧嘩は史上有名。

それもそのはず、宗麟の女淫は、酒池肉林の言葉がそのままあてはまるけたはずれ。

その宗麟をなぐりとばし戒めたのが戸次道雪。大友三老の一人としての道雪は、生涯戦った数しれぬ戦で負をしらず、常に宗麟を助け、博多をみおろす立花城で、肥前肥後筑前筑後の反大友の乱を鎮め中国の毛利元就と対峙、生涯一人の正室を愛し、豊後大友のために死んだ。九州を平定した

秀吉は、道雪の養子・立花宗虎の力を高く評価。大友から切り離し豊臣直参大名とし柳川藩を与えた。宗麟の子義統は朝鮮出兵で敵前逃亡をし、怒った秀吉から豊後大友の領地を没収され、以後豊後は小藩分立となる。この歴史上の大スペクタクルを、道雪の正室・仁志の目をとおして描く史劇。モノクロのシェイクスピア劇をイメージし、重厚に描いていこうと張り切っている。



■ 設定

時 ■ 豊後大友、大友義鑑、宗麟の時代
所 ■ 豊後、藤ノ北城、府内上野館、臼杵丹生島城、鶴崎城、筑後赤司城、筑前立花城

■ 登場人物

戸次(立花)道雪の正室・仁志
戸次(立花)道雪
大友宗麟
大友宗麟の正室・ツイ(イザベル)
その連れ子・マリ
伊呂姫(側室)
養孝院(道雪の室母)
大友義鑑
安藤彦十郎
十時弥六太
波津姫(若き日の正室)
鶴崎城城主室・妙林尼
フランシスコ・ザビエル
ポルトガル船長・ガマ
豊後の豪商中屋宗叱
立花閏千代
閏千代の幼児期
八幡丸(道雪の少年時代)
立花統虎
菊王丸(仁志の連れ子)
雪(仁志の連れ子)
津久見美作(暗殺者)
田口蔵人佐(暗殺者)
手ごめをうける一万田弾正の妻
小源太(閏千代を奪う少年)
閏千代を奪う立花の子ともたち
各城に仕える侍女大勢
義鑑、宗麟、道雪などに
仕える家臣大勢
戦場の軍勢大勢
京・白拍子の師匠
京・白拍子の踊り子たち

芸振新役員(理事)紹介



淡窓伝光霊流日本詩道会事務局長 齊藤 銘 霊

日本詩道会総本部事務局長という大任を、宗家深田光霊先生より拝命して、4月1日に着任しました。すぐに芸振理事にも就任することになりましたが、固より浅学非才の身にその大役の重きを痛感しています。何卒会員の皆様宜しくお願い致します。臨時理事会・通常総会と出席しましたが、初めて見聞する事ばかりで、戸惑いながら勉強させていただきました。私共が研修しています吟剣詩舞の芸術振興につきましても、夙に宗家深田先生にはその重要性をお認めになり、私達に重点目標としてご指導を受けて参りました。戦中の戦意高揚の名残を改め、品位ある芸術性豊かな吟剣詩舞道を全国に先駆け提唱、実践されたのが宗家深田光霊先生でございます。私も幸に宗家の教えをお受けして、30年になろうとしていますが、未だその過程にあります。

日本詩道会では今年9月24日、中津詩道会発会60周年全国大会開催をトップに玖珠20周年、臼杵25周年、三重30周年、日田25周年と順次大会が各詩道会で12月1日まで開催されます。大会の運営は総て会員のボランティアで行われ吟剣詩舞道向上に必死で努力準備中です。私も大分詩道会に在る時に幾回となく全国大会の運営を経験し文化会館を舞台に努力しました。これから本物の芸術としての吟剣詩舞道に微力をつくしたいと思っています。

芸振会議の諸先輩の皆さん宜しく御指導をお願いします。



大分県日本舞踊連盟会長 花柳 笹之丞

此の度、大分県芸術文化振興会議の理事に就任させていただきました大分県日本舞踊連盟会長・花柳笹之丞でございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。私共、日本舞踊は女性会員が多く皆様もご承知のように花柳裕久英師、花柳昌吉郎師それに私、花柳笹之丞、事情の許すかぎりこの男性3人が会長を2年任期でつとめさせていただいております。今年度の私のテーマは「古い礼節を大切に」ということであまり堅くならないように皆様の親睦と研究を高めながら、素晴らしい日本の伝統芸能を正しく伝承して行きたいと念願しております。芸振会議の皆様にも御指導・御鞭撻のほどお願い申し上げます。



大分県高等学校文化連盟事務局長 佐藤 達 美

本年度、高文連事務局を大分豊府高校が担当することになりました。私個人にとっては未知なる領域で苦闘の連続ですが、皆様方の御指導を受けながら、職責を果たしていきたいと思っております。

本県高文連は伝統・実績などにおいて全国高文連活動のリーダー的存在といっても過言ではないと思われれます。ほぼ全ての高校が参加し、会員数は5万人を超えます。「組織の充実と質的向上」を連盟目標に努力していますが、生徒一人ひとりが生涯を通じて味わい楽しめる文化・芸術領域を高校時代に見つけることを願っています。

きたるべき国民文化祭には、高文連も積極的に参加したいと思っております。今後とも高文連活動に変わらぬ御援助・御指導をお願い申し上げます。



大分市教育委員会文化振興課長 工藤 久 典

芸振会議に参加されております皆様方には、平素から芸術文化の振興に尽力されておられますことに、深く敬意を表します。

さて、ゆとり・豊かさの時代の中で、より高い水準の芸術文化に触れ、自らも創作活動に参加するなど文化活動に対する市民ニーズは、益々多様化・高度化・活発化してきております。このような中で、大分県では文化交流や地域文化創造の拠点として、また、感動を共有する場として「豊の国情報ライブラリー」や「ビーコンプラザ」が相次いで開館、更に平成10年には文化の国体ともいわれる国民文化祭も開催されます。

このように大分の芸術文化が21世紀に向けて大きく飛躍しようとしている時期に理事という大役を仰せつかり、私も微力ながら全力を尽くしたいと考えておりますので、今後とも格別のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成7年度 基金事業一覧表

■ 芸振自主事業

区分	月日	時間	開催地	会場	公演団体
ファミリー 芸術劇場	11月5日(日)	18:00～	三重町	三重町中央公民館	日本民謡梅幸会
学校巡回 公演	6月20日(火)	10:30～	〃	三重東小学校	グループU N O
	6月20日(火)	13:00～	〃	三重第一小学校	〃
	6月20日(火)	14:30～	〃	三重町中央公民館	〃
	6月24日(土)	13:30～	姫島村	姫島中学校	〃
	7月18日(火)	14:00～	津久見市	目代中学校	大分大学混声合唱団
	7月19日(水)	14:00～	臼杵市	山浦小学校	〃
	8月26日(土) ～28日(月)	9:00～ 16:00	竹田市	竹田勤労者 体育センター	大分県美術協会(造形研)
	9月12日(火)	13:00～	〃	久保泊小学校	カサデ・ギターラ
	10月21日(土)	10:00～	国見町	伊美小学校	大分県庁職員吹奏楽団
	11月4日(土)	10:00～	直入町	長湯小学校	大分人形劇サークル協議会
11月4日(土)	13:00～	〃	下竹田小学校	〃	
文化 キャラバン	10月25日(火) ～28日(土)	9:00～	中津市	中津市小幡記念 図書館	大分県美術協会(日洋彫工)

■ 海外派遣事業(内定)

氏名	年齢	推薦団体	職業	部門	派遣先	期間	研修内容
荒武久美子	45	大分県 洋舞踊協会	バレエ	舞踊	ヨーロッパ	未定	バレエ研修

■ 団体補助事業

平成7年度団体補助事業として大分県歌人クラブ他51団体に交付する。

平成7年度日本芸術文化基金助成金内定

本年度の日本芸術文化基金助成金の内示がありました。一層のご活躍を期待します。

区分	助成対象活動	実施時期	助成対象団体	助成内定額 (円)
地域文化施設 公演・展示活動	糸園和三郎とその時代展	8月30日～9月24日	大分県立芸術会館	2,000
	寺社の景観	10月13日～11月12日	大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館	2,000
民俗文化財の 保存活用活動	奥豊後里の賑わい祭	10月8日	奥豊後里の賑わいをおこす 実行委員会	400
アマチュア等 文化団体活動	ゆふいん音楽祭	7月27日～30日	ゆふいん音楽祭実行委員会	1,000
	第46回日本童話祭 九州子ども太鼓フェスティバル	5月4日～5日	日本童話祭実行委員会	300
	結成25周年記念 「津久見ジュニア文化祭」	11月11日～12日	津久見市文化協会	500
	第20回湯布院映画祭	8月23日～27日	湯布院映画祭実行委員会	800

芸振補助事業で開催される行事

|||||||||||| H7.9~12 |||

行 事 名	開催月日	会 場	主催団体名
萬語会みんようフェスタ'95	9月10日	平和市民公園能楽堂	萬 語 会
第23回大分県音楽コンクール	9月15日～10月8日	大分県立芸術会館	大 分 県 音 楽 協 会
光霊流詩道会60周年記念第58回大会	9月24日	中津文化会館	光霊流日本詩道会総本部
日本民謡発表会	10月8日	久住町公民館	日 本 民 謡 梅 幸 会
第7回湯布院人形劇カーニバル	10月19日	湯布院町中央公民館	大分県人形劇サークル協議会
佐伯市芸術祭	10月22日～11月30日	佐伯文化会館外	佐 伯 文 化 振 興 会
第48回県高校演劇祭及研究大会	10月26日～29日	竹田文化会館	大分県高校文化連盟
第26回国東町総合文化祭	10月28日～29日	国東町改善センター	国 東 町 文 化 協 会
大分県俳画作品展	10月29日～11月4日	レインボービル7F	大 分 県 俳 画 協 会
臼杵市第25回秋の文化祭	11月4日～5日	臼杵文化会館	臼 杵 市 文 化 連 盟
大分県短歌大会	11月上旬	大分文化会館	大 分 県 歌 人 ク ラ ブ
山香町総合文化祭	11月10日～12日	山香町中央公民館	山 香 町 文 化 連 盟
第25回津久見市文化祭	11月11日～12日	津久見市民会館	津 久 見 市 文 化 協 会
全国吟剣詩舞道大会	11月12日	大分県労働福祉会館	関心流日本興道吟詩会大分県支部
第29回音楽祭	11月15日	コンパルホール	大 分 県 軽 音 楽 連 盟
第32回大分県児童文化祭	11月19日	大分南部公民館	大 分 県 児 童 文 化 研 究 会
第10回新潮流展	11月23日～26日	大分県立芸術会館	新 潮 流 の 会
第10回創作舞踊公演	11月23日	"	創 作 舞 踊 研 究 会
第26回玖珠町文化祭	11月25日～26日	玖珠町公民館	玖 珠 町 文 化 振 興 会
第24回グループUNOコンサート	11月29日	大分県立芸術会館	グ ル ー プ U N O
第30回豊光会展	12月上旬1週間	"	豊 光 会
第25回大分県日本画展	12月上旬	"	大 分 県 日 本 画 協 会

新 会 員 紹 介

平成7年度に加入承認された会員は次のとおりです。総会員は団体会員157団体、個人会員178名となります。

● 個人

番号	氏 名	〒	住 所	電話番号	所 属 団 体
201	福田 征洋				(有)ユニーク
202	進藤すぎの				川柳会員
203	大塚 角坊				"
204	佐藤 達美				高文連事務局長
205	斉藤 銘霊				日本詩道会事務局長
206	工藤 久典				市文化振興課長

事務局だより

平成7年度 会員の春の受章者紹介

勲五等双光旭日章 挾 間 正 年
 (大分県芸術文化振興会議名誉会長)

住所変更・代表者の交替等は事務局へ届出を

会員の皆様には本県芸術文化の振興に御尽力いただき御苦勞様です。

定期総会・会議等で事務局の所在地・代表者の交替・事務局長の異動など変更がありましたら芸術振事務局まで連絡して下さい。

大分県芸術文化振興会議
 〒870 大分市府内町 3 丁目10-1
 大分県教育庁文化課内
 TEL(0975)36-0522

平成8年度事業計画書の提出は10月末迄

平成8年度の大分県芸術文化基金事業費補助金交付計画書・県芸術祭主催行事、芸術文化基金主催事業公演希望調査表・大分県芸術文化基金海外派遣候補者推薦書等の提出期限は10月末です。

芸術文化振興に意見募集

芸術文化に対する県民の「ニーズ」は年々高まっています。会員皆様の様々な御意見を承るため、次のとおり「意見募集期間」を定めました。葉書でも結構です。御意見をお待ちしています。

※意見募集期間：10月1日～11月30日(2ヶ月間)

平成7年度芸振役員・事務局員名簿

■ 役 員

役職名	氏 名	団 体 名	役職名	氏 名	団 体 名
名誉会長	挾 間 正 年		理 事 (団体代表)	恵 藤 美 紀	県民オペラ協会
顧 問	河 野 彰			村 上 陽 風	県三曲協会
	野 崎 哲			上 田 耕 作	県軽音楽連盟
会 長	仲 町 謙 吉			糸 永 信 義	県吹奏楽連盟
副 会 長	脇 正 人			斉 藤 銘 霊	日本詩道会
	中 沢 とおる			三 苫 勇	萬謡会
	小 長 久 子			花 柳 笹之丞	県日本舞踊連盟
	秋 月 陸 男			伊 坂 香 里	県民踊連盟連合会
監 事	日 野 正 美			笠 木 啓 子	県洋舞踊協会
	佐 藤 朱 音			首 藤 悦 爾	県児童文化研究会
常任理事	菅 久			清 末 典 子	県民演劇制作協議会
	十 時 良			佐 藤 達 美	県高等学校文化連盟
	倉 田 紘 文			佐々木均太郎	別府大学教授
理 事 (団体代表)	中 野 幸 和		狭 間 久	大分合同新聞特信局理事	
	佐 藤 真 砂 延	県番傘川柳連合会	尾 登 一 信	大分市民劇場会長	
	古 庄 碧 旻	県美術協会(書)	木 村 成 敏	県文化団体連絡協議会代表幹事	
	大 崎 聡 明	県美術協会(写)	宮 瀬 香 多 士		
理 事 (団体代表)	脇 坂 秀 樹	県美術協会(美)	工 藤 久 典	大分市教育委員会文化振興課長	
	山 本 勝 彦	県音楽協会	工 藤 孝	県芸術会館副館長	

■ 事務局員

役職名	氏 名	役 職 名 等	役職名	氏 名	役 職 名 等
事務局長	末 廣 利 人	県教育庁文化課課長	事務局次長	辛 島 光 義	県音楽協会員
事務局次長	広 田 肇 一	県教育庁文化課参事	事 務 局	油 布 芳 典	県教育庁文化課課長補佐兼管理係長
	野 田 武 志	県教育庁文化課課長補佐		滝 上 福 次	県教育庁文化課主幹兼文化企画係長
	佐 藤 智 信	県芸振会議事務局次長		仲 前 賢 二	県教育庁文化課文化企画係主事
	日 名 子 金 一 郎	県美術協会員		大 近 由 美	県芸振会議事務局書記

事務局／大分市府内町 3 丁目10-1 大分県教育庁文化課内 大分県芸術文化振興会議 TEL0975-36-0522